

ぼらせん

仙台市ボランティアセンター広報誌

BORASEN

vol.18

2023
Summer

特集 子どもたちに想いを届ける サークルK宮城学院女子大学



サークルK宮城学院女子大学の皆さん



ボランティア仙台でのイベント



南三陸町・結の里夏祭り

|キワニス・ドールで、子どもたちを笑顔に

白い布に綿を詰め込んだシンプルな人形。キワニス・ドールと呼ばれるもので、病院で手術や入院をする子どもたちの不安を和らげるために活用されています。このキワニス・ドールの寄贈をはじめ、子どもたちのために様々な奉仕活動を行っているのが、一般社団法人仙台キワニスクラブです。2017(平成29)年には大学生版のキワニスクラブ「サークルK」が宮城学院女子大学に設立され、活動の幅はますます広がっています。



病気の子どもたちの不安を和らげるキワニス・ドール

Contents

特集

- 子どもたちに想いを届ける
サークルK宮城学院女子大学 1-3
- 掲載希望企業・団体募集のお知らせ
- 企業の社会貢献 4-5
 - ・明治安田生命仙台支社
 - ・仙台矯正管区
- 子どもの居場所づくり支援 6
 - ・子ども食堂
「赤石分校青空レストランおいで」
- ボランティアセンターからのお知らせ ... 7
- イベントインフォメーション 8

特集

サークルK
宮城学院女子大学

子どもたちに想いを届ける サークルK宮城学院女子大学

ボランティアを通じて 次世代のリーダー育成へ



南三陸町・結の里夏祭り



ランチ仙台でのイベント



水の森児童館での学習支援



クワニス・ドールの製作



ミーティングの様子



クワニス・ドール

「子どもたちが好き」という気持ちを大切に

仙台クワニスクラブの皆さんに見守られながら、クワニス・ドールを製作しているのは、サークルK宮城学院女子大学のメンバーです。ボランティア活動を始めたきっかけを聞いてみると、「子どもが好きだから」「子どもたちの笑顔がもっと見たいから」という理由で入会した学生がほとんど。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、活動を自粛せざるを得ない時期が長く続きましたが、児童館の子どもたちを対象とした学習支援や、南三陸町の施設「結の里」での夏祭りへの協力、病気の子供たちに観てほしいという一心で手がけた動画づくりなど、自分たちらしさを前面に打ち出しながら活動を続けています。市内の商業施設・ランチ仙台での子どもたちを対象としたイベント

では、クワニス・ドールづくりを体験してもらい、「とても楽しく作れた」「かわいいのができた」という喜びの声が多く聞かれました。

「やっぱり大学生は発想が豊かですね」と仙台クワニスクラブ事務局の皆さんも太鼓判を押すサークルK宮城学院女子大学の取り組み。「みんなで子ども食堂にチャレンジしたい」「外国籍の子どもたちの居場所づくりを支援したい」「他の大学との連携も活発にしたい」など、大学生会員の夢はどんどん広がっています。学内のクラブ・サークル活動ではなく、学生の自主活動として位置づけられているサークルK宮城学院女子大学ですが、世界中で約20万人が奉仕活動に取り組んでいる民間の奉仕団体・クワニスの一員として、子どもたちの明るい笑顔にエールを送り続けています。



大学生会員の



VOICE
01

教育学部 4学年

菅原 未夢さん

先輩からサークルKの活動内容を聞き、無理なく楽しそうに助け合って活動しているところに魅力を感じました。私自身子どもと関わることが好きで、大学ではボランティア活動をしてみたいという想いがありました。自分の作ったクワニス・ドールが病院で懸命に頑張っている子どもたちの心の支えになっていると思うとやりがいを感じます。これからクワニス・ドールを広めていくために、昨年は地域の方にもクワニス・ドールを作っていただく機会を設けました。大学卒業後は保育の道に進み、子どもが豊かな人生を歩んでいけるような心を育てられる保育者になりたいです。

VOICE
02

教育学部 4学年

信田 萌音さん

サークルKでは主に子ども食堂や学習支援等のボランティアを行っていると感じ、将来につながる良い経験ができると思って入りました。クワニス・ドールは病院で医師や看護師が部位を指差し、子どもに症状を聞いたり、治療の説明をする際に使われていて、自分が制作したクワニス・ドールが役に立っていると思うとやりがいを感じます。私は保育教諭を目指していますが、ボランティア活動を通して学んだことを活かしながら子どもの気持ちに寄り添うことのできる保育教諭になりたいです。大学卒業後、社会に出てからもクワニス・ドールの存在を広める活動に携わることが今の目標です。

VOICE
03

学芸学部日本文学科 3年

森元 沙羅さん

大学1年生のときにボランティア活動の紹介でサークルKのことを知り、特に子ども食堂での活動に興味を持ちました。今、自分が作っているクワニス・ドールが、辛い思いをしている子どもたちのもとに届き、少しでも気持ちを和らげられているということを見ると、とてもやりがいを感じます。このクワニス・ドール以外にも、私たちが考えた支援や企画で子どもたちが笑顔になる瞬間や何かに夢中で取り組んでいる様子を見ると、活動していてよかったと思います。今後はクワニス・ドールを広める活動や継続的な支援活動により力を入れたいです。

VOICE
04

教育学部 3学年

浅岡 萌菜さん

実際に子どもたちと触れ合うことで感じたことや気づいたことを大学での学びにつなげられると考え、サークルKに入りました。私たちが企画したものを子どもたちが満面の笑顔で楽しんでいる姿を見ると、サークルKで活動していて良かったと感じます。クワニス・ドールは、病院で入院している子どもたちの心の支えになるようにと心を込めて制作しています。クワニス・ドールを知らない方はまだまだたくさんいると思うので、もっと多くの人にクワニス・ドールを広める活動を展開していきたいです。ボランティア活動を通して得た経験を糧に、小学校教員になる夢を叶えられるように頑張りたいです。

一般社団法人仙台クワニスクラブ 事業委員会

クワニスクラブは「世界の子どもたちのために」を合言葉に奉仕活動を行う国際的な民間団体です。

仙台クワニスクラブは1971(昭和46)年に国内6番目のクラブとして発足しました。奉仕を通じて若者のリーダーシップを育成しようというのが学生クワニスクラブで、宮城学院女子大学は日本で4番目のサークルKとして設立されました。

サークルK宮城学院女子大学の会員はとにかく純粋です。幸せをもっとみんなに広げていこうという気持ちを大切に、これからもチャレンジを続けてほしいと思います。



一般社団法人 仙台クワニスクラブ
事業委員会 委員長
阿部 孝一さん

Information

広報誌「ぼらせん」掲載希望企業・団体 募集中!!

みなさんの地域貢献活動を「ぼらせん」を通して地域に届けてみませんか?

「地域に届けたい活動がある」

「地域とつながりたいが広報の術がない」

そんな企業や団体は仙台市ボランティアセンターまでご相談ください!



対象 仙台市内で地域貢献活動を行っている企業・団体

掲載量 1~2ページ

問合せ 仙台市ボランティアセンター

TEL:022-262-7294 E-mail:sendai-vc@poppy.ocn.ne.jp

健康活動を実践しながら、きれいな街づくりに貢献



▲ごみ拾いで街に思いやりを



▲昨年秋のごみ拾いボランティア交流会でのひとコマ
▲仙台市のフードドライブ事業への参画

「よくそんなに大きなごみを見つけたね」「あっ、今朝だけで2,500歩を超えました」。明るく元気な声を弾ませながら仙台市の中心部でごみ拾い活動を行っているのは、明治安田生命仙台支社の仙台第二マーケット開発室の皆さんです。

昨年秋、仙台市社会福祉協議会／仙台市ボランティアセンター主催の「第2回ごみ拾いボランティア交流会」に参加したのがきっかけで、ごみ拾いをゲーム化するのはおもしろいと思い立ち、職場のグループ単位で拾ったごみの重さや個数、歩数を競い合っています。「活動は不定期ですが、会社独自のウォーキングアプリなども活用しながら、健康活動と社会貢献の両立を目指しているんです」と話すのはマーケット開発室長の山本さん。

明治安田生命では「ひとに健康を、まちに元気を」をスローガンに、「みんなの健活プロジェクト」と「地元の元気プロジェクト」の二大プロジェクトに取り組んでいます。仙台支店でも仙台市や多賀城市、塩竈市など、各自治体との連携協定に基づいて、小学生向け

サッカー教室の開催やフードドライブ事業への運営者としての参画など、さまざまな形で地域の健康や元気を応援しています。

「これからも地域とのつながりを大切に、いろいろなことにチャレンジしていきたいですね」と笑顔をのぞかせるのはグループリーダーの芦立さん。スタッフひとりひとりの熱い想いを結集しながら、地域の皆さんが笑顔で安心して暮らせる社会づくりに貢献しています。

ひとに健康を、まちに元気を



職場ぐるみで「みんなの健康プロジェクト」と「地域の元気プロジェクト」を実践

刑務所出所者等の雇用から始まる社会貢献



▲刑務所作業製品も展示



▲コレワーク東北の佐藤良彦さん

東北6県の矯正施設を監督しながら、再犯の防止に取り組んでいる仙台矯正管区。地域の事業主の方が矯正施設からの出所者等を雇用するためのお手伝いをしているのが、コレワーク東北(矯正就労支援情報センター室)です。検挙された方のうち再犯が占める割合は約半数にのぼっており、矯正施設に戻った方が多くが仕事をしていなかったという実情を踏まえると、再犯の防止には仕事が必要な役割を果たしていることがうかがえます。

「再犯の防止は国の重点施策のひとつ。再犯を防ぐためには出所・出院された方が、社会に戻ってからの居場所や出番を確保することが重要だと考えています」と語るのは、コレワーク東北の佐藤良彦さんです。矯正施設に入所する方の中には、高齢や障害などの理由により福祉サービスを必要とするケースが少ないことから、関係機関とも連携しながら、きめ細やかなサポートを行っています。

「出所者等の雇用を検討している事業所から採用が決まったという知らせを受けたときは、達成感がこみ

上げてきます」という佐藤さん。「今後は地域の福祉やボランティアにも関わっていきたいです」と話します。

雇用情報提供サービス・採用支援手続きサービス・就労支援相談窓口サービスという3つのサービスを柱に、就労に向けた立ち直りを支えているコレワーク東北。雇用という社会貢献を通じて、より安全・安心な社会にしたいという願いがそこには込められています。

コレワークのことをもっと知りたいから



オリジナルのキャラクター(コレまる)をあしらったメモ帳や付箋などを作成しています。

子どもの居場所づくり

～地域の魅力を知ってもらう拠点として～

赤石分校青空レストランおいで（仙台市太白区）



一 世代を超えた仲間づくりの場としても

「四季折々の楽しみを通じて、生出地区の良さをもっと知ってもらいたい」「みんなで郷土愛を育みながら、新しい仲間づくりを始めよう」。そんな思いから季節にちなんだ体験や遊びの機会を提供しているのは赤石分校青空レストランおいでの皆さんです。以前は仙台市立生出小学校の赤石分校を活用していましたが、赤石分校が閉校となったため、生出市民センターや自宅などを使って、地域に根差した活動を続けています。

「リピーターが多く、ぜひ協力したいという方がたくさんいらっしゃいます。子育て中の方や孫育て中の方など、新しい仲間づくりの場となっているのは、大きなやりがいにつながっていますね」と語るのは代表の沼田恵美子さんです。

農業体験を兼ねて、野菜づくりは種を撒くところから。みんな苗を植えて、大きくなったら収穫し、おいしさ満点の旬の味をお届けしています。「たけのこを掘ったり、こんにゃくいもを作ったり、生出地区ならではの魅力を活かした体験にみんな大喜びなんです。今後はぜひ継承者を育てていきたいですね」と笑顔を見せる沼田さん。一年を通じて郷土の魅力を掘り起こしながら、みんなで集って、触れ合って、ほっとひと息つける空間へ。赤石分校青空レストランおいでは、子どもたちはもちろん、地域の皆さんにとっても、かけがえのない心の居場所となっています。

INFORMATION
「赤石分校青空レストランおいで」
に関するお問合せは
TEL 022-281-2040

仙台市ボランティアセンターからのお知らせ

「会えなくてもつながれる」届けるボランティア活動 ～非接触型ボランティア活動サロン開催～

参加者
募集中
申込不要

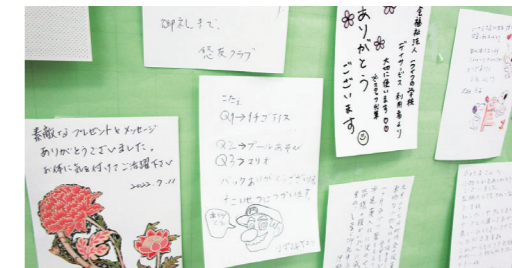
地域の高齢者や障害者、子どもたち等に向けて、手作りの品を作成しプレゼントする、届けるボランティア活動をしてみませんか？どなたでもお気軽にご参加ください！

開催日時
第1・3土曜日 10:00～15:00
(お昼休憩12:00～13:00) ※出入り自由

場所
仙台市福祉プラザ4階
仙台市ボランティアセンター

対象
ボランティア活動に興味のある方

内容
地域の方々に向けた贈り物
手作りの品・メッセージカード・
返信用はがきの3点セットの作成



受け取った地域の方々から
たくさんのお返事が
届いています！

メッセージカードと
返信用はがきを添えて
地域の方々へ
プレゼントします！



お届けする
手作りの品の1つ
「フェルトバック」



災害ボランティアセンター運営サポーター養成講座

参加者募集中

開催日時
令和5年8月29日(火)
13:30～15:00
※日程は変更になる場合があります。

場所
仙台市福祉プラザ1階
プラザホール

対象
仙台市内在住の方か通勤・
通学している18歳以上の方

申込
申込書に必要事項を記入のうえ
仙台市ボランティアセンターまで
メールもしくはFAXにて申込



優先的に支援が
必要ところはここかな？

活動に必要な
資機材はどれだろう…



災害ボランティアは
どんなことをするのか？

運営サポーターとは…

災害時、以下3つの役割について「できることを、できる範囲で」行動していた
だく災害ボランティアセンターの支援者です。

- 1 災害ボランティアセンターを広める
- 2 災害ボランティアに参加する
- 3 災害ボランティアセンターの運営スタッフに参加する

仙台市災害ボランティアセンターホームページはこちら <http://www.ssvc.ne.jp/>

イベントインフォメーション

仙台市障害理解サポーター養成研修 市民向け講座

障害のある方が講師となり実体験を踏まえて、必要な配慮についてお話しいただきます。ぜひご参加ください!

日時 令和5年7月11日(火)
10:00~11:30

場所 仙台市福祉プラザ1階プラザホール

内容 ・障害について知ろう!(講義)
・当事者講師に話を聞いてみよう!(グループワーク)
講師:精神障害、発達障害の講師の方々

対象 仙台市内在住の方が仙台市内に通勤・通学している方



アートカフェ

仙台市内でボランティア活動に取り組んでいる
仙台市ボランティア連絡協議会の皆さんと一緒に、
季節の折り紙などのハンドメイド作品を制作しませんか?
みんなで交流しながら楽しく作り方を覚えて、自分の地域で
活動してもよし!おうちで楽しんでもよし!
年齢・性別問わずどなたでも大歓迎です。
ご参加お待ちしております!

日時 7月10日(月) 10:00~15:00
(お昼休憩12:00~13:00)

場所 仙台市福祉プラザ4階 仙台市ボランティアセンター



参加者
募集中



青葉区ボランティアセンター

仙台市青葉区二日町4-3 仙台市役所二日町分庁舎1階 TEL022-265-5260

青葉区宮城支部事務所

仙台市青葉区下愛子字観音堂27-1(仙台市宮城社会福祉センター内) TEL022-392-7868

宮城野区ボランティアセンター

仙台市宮城野区原町3-5-20 メゾン坂下1階 TEL 022-256-3650

若林区ボランティアセンター

仙台市若林区保春院前丁3-1 若林区中央市民センター別棟1階 TEL 022-282-7971

太白区ボランティアセンター

仙台市太白区長町南3-1-30南部アーチル1階 TEL 022-248-8188

泉区ボランティアセンター

仙台市泉区泉中央2丁目24-1(泉地区休日診療所跡) TEL 022-372-2603

※令和5年度は大規模改修工事に伴い仮事務所に移転しています。

▼ 掲載記事に関するお問い合わせは仙台市ボランティアセンターまで ▼



社会福祉法人

仙台市社会福祉協議会

仙台市ボランティアセンター

〒980-0022

仙台市青葉区五橋2丁目12-2 仙台市福祉プラザ4階

TEL 022-262-7294 FAX 022-216-0140

▼ホームページはこちら

<http://www.shakyo-sendai.or.jp/>

仙台市ボランティアセンター

検索

